



## 2024年版東洋経済CSR評価項目一覧

項目名・評価得点・ポイント

### ■人材活用

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	女性従業員比率		○	2	0.40	比率が高いほうが高得点。平均値は27.1%。
2	男女別賃金	●	○	2	0.50	回答があれば得点あり。
3	世代別女性従業員数			2	1.49	各世代の女性従業員数の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
4	離職者状況			2	1.53	回答があれば得点あり。
5	年間総労働時間の開示			2	1.33	回答があれば得点あり。
6	残業時間・残業手当			3	1.38	回答があれば得点あり。残業時間は少ないほうが高得点。
7	残業削減の取り組み			3	2.44	取り組み状況は回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な取り組み内容の回答があれば加点。
8	30歳平均賃金			3	1.26	回答があれば得点あり。一定金額以上で加点。28万円以上が目安。32万円以上が最高得点。
9	外国人管理職の有無		○	2	0.64	一定人数以上の回答があれば得点あり。
10	女性管理職比率		○	2	0.54	比率が高いほうが高得点。平均値は9.9%。
11	女性部長比率		○	2	0.45	比率が高いほうが高得点。平均値は5.1%。
12	女性役員比率		○	2	0.86	比率が高いほうが高得点。平均値は7.8%。
13	ダイバーシティ推進の基本理念			1	0.61	妥当な内容の回答があれば得点あり。
14	多様な人材登用部署		○	2	0.89	「有」「(今後)予定」のほうが高得点。
15	多様な管理職登用(比率)の目標値			1	0.63	妥当な目標値の回答があれば得点あり。
16	障害者雇用率(実績)		○	4	1.50	比率が高いほうが高得点。法定雇用率2.3%は2点。
17	障害者雇用率の目標値		○	1	0.62	妥当な目標値の回答があれば得点あり。
18	65歳までの雇用・定年後の就業機会			3	2.32	65歳までの雇用は回答があれば得点あり。「全員雇用」の得点が最も高い。定年後の就業機会の回答状況を積み上げて得点化し、加点。上限あり。
19	正社員の定年年齢			2	0.38	「60歳超」で得点あり。「65歳以上」「(定年年齢)無」の得点が最も高い。
20	LGBTへの対応			2	1.36	基本方針は回答があれば得点あり。妥当な具体的な取り組みの回答があれば加点。
21	有給休暇取得率(最新年度)		○	5	1.95	比率が高いほうが高得点。90%以上が最高得点。平均値は69%。
22	産休期間			2	0.25	法定以上のほうが高得点。
23	産休取得者			2	1.33	3年間の人数と回答状況を評価している。
24	育児休業取得者			2	1.45	3年間の人数と回答状況を評価している。
25	男性の育児休業取得者数・取得率			5	2.67	取得者数は3年間の人数を評価している。取得率は直近2年間の数値と回答状況で評価している。高いほうが高得点。

26	配偶者の出産休暇制度			1	0.80	「有」で得点あり。
27	介護休業取得者			3	1.51	3年間の人数と回答状況を評価している。
28	看護休暇・介護休暇			3	1.61	法定以上のほうが高得点。回答状況も評価している。
29	退職した従業員の再雇用制度			2	1.07	「有」のほうが高得点。転職退職者の再雇用制度も評価している。「制度有・実績有」のほうが高得点。
30	ユニークな両立支援制度			2	1.00	妥当な制度内容の回答があれば得点あり。
31	勤務形態の柔軟化に関する諸制度			5	3.88	各制度の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
32	テレワークの導入			1	0.77	「導入(導入している)」で得点あり。
33	副業・兼業			1	0.43	「認めている」で得点あり。
34	ハラスメント防止			1	0.90	「行っている」で得点あり。
35	従業員のインセンティブを高めるための諸制度			5	3.60	各制度の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
36	労働安全衛生マネジメントシステム			2	1.46	「有」のほうが高得点。
37	労働安全衛生分野の表彰歴			2	0.60	妥当な表彰事例の回答があれば得点あり。2年連続で回答があるほうが高得点。
38	労働災害度数率			1	0.20	一定比率以下(直近2年間)で得点あり。
39	メンタルヘルス休職者数			2	1.33	回答があれば得点あり(直近2年間)。2年以上の回答で加点。数値は評価していない。
40	人権尊重等の方針			2	1.65	「有」のほうが高得点。
41	人権尊重等の取り組み			2	1.05	妥当な取り組み内容の回答があれば得点あり。
42	中核的労働基準を尊重した経営			2	1.39	「尊重している」のほうが高得点。
43	中核的労働基準4分野の対応状況			2	1.32	対応分野の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
44	人権デューデリジェンスの取り組み			1	0.52	「行っている」で得点あり。
45	能力・評価結果の本人への公開			2	1.66	「従業員本人に公開」のほうが高得点。
46	従業員の評価基準			2	1.69	「公開(従業員に公開)」のほうが高得点。評価反映項目の回答があれば加点。
47	1人当たり年間教育研修費用・時間			3	1.11	研修費用は回答得点と金額の2段階で評価している。平均値は6.2万円。研修時間は回答があれば得点あり。
48	従業員の満足度調査			2	1.50	「行っている」のほうが高得点。
49	キャリア形成支援			3	1.75	キャリアパス・キャリアマップの提示、キャリア研修(50歳以上対象含む)・相談の実施状況の3項目の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
50	新卒入社者の3年後定着度		○	4	2.01	新卒3年後定着率が高いほうが高得点。75%以上が目安。95%以上が最高得点。
51	発生した労働問題の開示			1	0.16	妥当な内容の回答があれば得点あり。
				<b>基礎得点満点</b>	<b>116</b>	

## ■環境

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	環境担当部署の有無			2	1.20	「専任」の得点が最も高い。
2	環境担当役員の有無			2	0.75	「専任有」の得点が最も高い。
3	環境担当役員の担当職域			2	0.20	「100%」のほうが高得点。
4	環境方針文書の有無			2	1.43	「有」のほうが高得点。
5	環境会計等の有無			1	0.34	「有」で得点あり。
6	環境会計等における費用と効果の把握状況			2	0.71	「環境省ガイドラインに準拠して把握」「自社独自・業界独自方法で把握」は同じ得点。
7	環境会計等の主要項目開示 (パフォーマンスの開示状況)			3	1.56	各項目の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
8	環境監査の実施状況			3	2.10	回答があれば得点あり。実施しているほうが高得点。
9	ISO14001取得体制			3	2.20	「ISO14001認証取得」「自社独自のESM構築」は同じ得点。
10	ISO14001取得率(国内・海外)			4	1.59	国内・海外の数値状況を評価している。取得率が高いほうが高得点。自社独自のEMSにおける取得率(把握率)でも評価対象。
11	グリーン購入体制			2	1.18	「GPNガイドラインにのっとって実施」「自社独自指針にのっとって実施」は同じ得点。
12	事務用品等のグリーン購入比率			3	0.66	比率が高いほうが高得点。80%以上が目安。
13	原材料のグリーン調達			3	1.67	実施しているほうが高得点。
14	原材料調達の取引先対応			2	0.97	回答があれば得点あり。
15	環境ラベリング			3	1.55	実施しているほうが高得点。
16	土壌・地下水の汚染状況把握			2	1.24	回答があれば得点あり。
17	水問題の認識			1	0.85	回答があれば得点あり。
18	環境関連法令違反の有無			3	2.00	該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
19	環境問題を引き起こす事故・汚染の有無			3	2.00	該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
20	環境問題に関する苦情の有無	●		2	1.42	回答があれば得点あり。
21	環境分野・CO <sub>2</sub> 排出量等削減への中期計画の有無			5	3.60	「有」のほうが高得点。妥当な内容の回答があれば加点。
22	スコープ3			3	1.31	「集計」で得点あり。数値・算定対象カテゴリーに回答があれば加点。
23	炭素利益率(ROC)			2	1.23	直近年度の温室効果ガス排出量またはスコープ1+2の回答があれば得点あり。
24	温室効果ガス(スコープ1+2)排出量削減			3	0.89	2年連続で回答があれば得点。スコープ1+2の前年比削減率が一定以上で加点。
25	廃棄物等総排出量削減			2	0.59	2年連続で回答があれば得点。廃棄物等総排出量の前年比削減率が一定以上で加点。
26	2022年度の環境目標・実績			4	1.67	各テーマの目標・実績の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
27	気候変動への対応の取り組み		○	2	1.75	回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。
28	気候変動に関するシナリオ分析			2	1.43	回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。
29	再生可能エネルギーの利用		○	3	1.04	「行っている」で得点あり。直近年度の利用率が一定以上で加点。平均値は21.4%。

30	カーボンプライシングの認識			1	0.84	回答があれば得点あり。
31	環境関連の表彰歴			2	0.57	妥当な表彰事例の回答があれば得点あり。2年連続で回答があるほうが高得点。
32	環境ビジネスへの取り組み			3	1.93	回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な具体的内容の回答があれば加点。
33	プラスチック削減の取り組み			3	1.75	「有」のほうが高得点。妥当な具体的内容の回答があれば加点。
34	事業による生物多様性への影響の把握	●		2	1.18	回答があれば得点あり。「事業活動による影響について把握(している)」のほうが高得点。
35	生物多様性保全への取り組み			3	1.44	妥当な取り組みの回答があれば得点。
36	生物多様性保全プロジェクトへの支出額			5	0.90	直近2年間の数値と回答状況で評価している。数値状況は売上規模ごと(3段階)に評価。高いほうが高得点。
<b>基礎得点満点</b>				<b>93</b>		

## ■企業統治

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	中長期的な企業価値向上の基礎となる経営理念			2	1.78	回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
2	CSR活動のマテリアリティ設定			3	2.20	回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。妥当な内容の回答があれば加点。
3	ステークホルダー・エンゲージメント			3	2.03	回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。妥当な内容の回答があれば加点。
4	活動報告の第三者の関与		○	2	1.11	回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
5	英文での活動報告		○	2	1.37	回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
6	CSR担当部署の有無		○	2	1.22	「専任」の得点が最も高い。
7	CSR担当役員の有無			2	0.77	「専任有」の得点が最も高い。
8	CSR担当役員の担当職域			2	0.25	「100%」のほうが高得点。
9	CSR方針の文書化の有無			2	1.39	「有」のほうが高得点。
10	IR担当部署			2	1.44	「専任」のほうが高得点。
11	法令順守関連部署			2	1.46	「専任」のほうが高得点。
12	国内外のCSR関連基準への参加等			3	2.05	各基準の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。全基準中3分の1以下の回答でも満点。
13	内部監査部門の有無			2	1.77	「有」のほうが高得点。
14	内部通報窓口(社内・社外)設置			3	2.58	回答があれば得点あり。「設置済み」のほうが高得点。
15	内部通報者の権利保護に関する規定制定			3	2.69	「制定済み」のほうが高得点。
16	内部通報件数			5	2.36	直近2年間の数値と回答状況で評価。回答があれば得点あり。2年連続で回答があるほうが高得点。数値状況によって加点。妥当な実効性向上への取り組みの回答があれば加点。
17	公正取引委員会からの排除措置命令等・他			3	2.07	該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
18	不祥事などによる操業・営業停止			3	2.07	該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
19	コンプライアンスに関わる事件・事故での刑事告発			3	2.07	該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
20	海外での価格カルテルによる摘発			3	1.94	該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
21	海外での贈賄による摘発			3	1.95	該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
22	汚職・贈収賄防止の方針			3	2.28	回答があれば得点あり。「方針有」のほうが高得点。妥当な内容の回答があれば加点。
23	政治献金等の開示			3	1.56	3年間の回答状況の評価している。3年連続での回答が得点が最も高い。
24	内部統制の評価			3	2.87	「有効」の得点が最も高い。未上場企業は一定得点。
25	相談役・顧問制度の状況についての開示			1	0.91	回答があれば得点あり。
26	社外取締役による経営者評価			2	1.45	回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。
27	任意を含む指名・報酬委員会等の設置			2	1.62	回答があれば得点あり。「設置している」のほうが高得点。
28	ESG等関連指標の役員報酬への反映			2	0.44	「反映している」で得点あり。
29	情報システムに関するセキュリティポリシーの有無			2	1.74	「策定済み」で得点あり。

30	情報システムのセキュリティに関する内部監査の状況			2	1.62	「定期的に実施」のほうが高得点。
31	情報システムのセキュリティに関する外部監査の状況			2	1.24	「定期的に実施」のほうが高得点。
32	プライバシー・ポリシーの有無			1	0.82	「制定済み」で得点あり。
33	リスクマネジメント・クライシスマネジメントの体制			2	1.64	「有」のほうが高得点。
34	リスクマネジメント・クライシスマネジメントに関する基本方針			2	1.54	「有」のほうが高得点。
35	リスクマネジメント・クライシスマネジメントに関する対応マニュアルの有無			3	2.38	「有」のほうが高得点。
36	リスクマネジメント・クライシスマネジメント体制の責任者			2	1.68	「社長など会社の代表者」「代表者に準ずる取締役」の得点が最も高い。
37	BCM構築			2	1.22	「有」のほうが高得点。
38	BCP策定・想定			3	2.34	「有」のほうが高得点。想定する災害等の回答があれば加点。
39	リスクマネジメント・クライシスマネジメントの取り組み状況			2	1.31	適切な取り組み状況の回答があれば得点あり。
40	企業倫理方針の文書化・公開			3	2.34	「文書化・公開」のほうが高得点。
41	倫理行動規定・規範・マニュアルの有無			2	1.64	「有」のほうが高得点。
				<b>基礎得点 満点</b>	<b>99</b>	

## ■社会性

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	消費者対応部署の有無			2	1.25	「専任」のほうが高得点。
2	社会貢献担当部署の有無			2	1.05	「専任」のほうが高得点。
3	商品・サービスの安全性・安全体制に関する部署の有無			2	1.34	「専任」のほうが高得点。
4	社会貢献活動支出額			6	1.71	3年間の合計額を売上規模ごと(4段階)に評価。
5	NPO・NGO等との連携		○	4	2.27	「有」のほうが高得点。妥当な連携先・事例の回答があれば加点。
6	ESG情報の開示			3	2.50	回答があれば得点あり。「開示(あり)」のほうが高得点。
7	投資家・ESG調査機関との対話			2	1.38	「行っている」のほうが高得点。
8	消費者からのクレーム等への対応マニュアルの有無			2	1.43	「有」のほうが高得点。
9	消費者からのクレームのデータベースの有無			2	1.49	「有」のほうが高得点。
10	ISO9000Sの取得状況(国内・海外)			3	1.57	国内・海外の数値と回答状況进行评估している。取得率が高いほうが高得点。独自の品質基準における取得率(把握率)でも評価対象。
11	ISO9000S以外(独自等)の品質管理体制			3	1.21	「有」で得点あり。妥当な具体例の回答があれば加点。
12	地域社会参加活動実績		○	2	1.64	妥当な事例の回答があれば得点あり。
13	教育・学術支援活動実績			2	1.34	妥当な事例の回答があれば得点あり。
14	文化・芸術・スポーツ活動実績			2	1.29	妥当な事例の回答があれば得点あり。
15	国際交流活動実績			2	0.91	妥当な事例の回答があれば得点あり。
16	サステナブル調達の実施		○	4	2.43	回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。方針の開示、調達先監査・評価の回答状況で加点。
17	サステナブル調達の取り組み事例			2	0.98	妥当な事例の回答があれば得点あり。
18	取引先に対する基本方針			2	1.42	回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
19	紛争鉱物の対応			2	1.19	回答があれば得点あり。「対応(している)」のほうが高得点。
20	SDGsの目標への意識			2	1.67	回答があれば得点あり。「参考にしている」のほうが高得点。
21	SDGsの目標達成基準			2	1.02	「有」で得点あり。妥当な今後の対応や目標の回答があれば加点。
22	SDGs17の目標対応状況			3	2.39	各目標への対応の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
23	社会課題解決ビジネスの取り組み			4	1.82	CSVの取り組み、BOPビジネスの取り組みを「行っている」で得点あり。妥当な具体例の回答があれば加点。
24	海外での社会課題解決の活動等			2	0.88	妥当な事例の回答があれば得点あり。
25	ボランティア参加・休暇			5	1.73	ボランティア参加は直近年度の参加者数の回答があれば得点あり。同休暇は制度「有」で得点あり。取得者数の回答があれば加点。3年間の合計取得者数が多いほうが高得点。
26	ボランティア休職・青年海外協力隊参加			4	0.29	制度「有」で得点あり。取得者数の回答があれば加点。取得者数が多いほうが高得点。
27	マッチング・ギフト			1	0.18	「有」で得点あり。

28	ボランティア休暇等の従業員への周知			3	1.48	回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な具体例の回答があれば加点。
29	従業員向けの社会課題解決への関心を高める取り組み			3	2.06	回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な具体例の回答があれば加点。
30	プロボノ支援			4	1.16	「行っている」のほうが高得点。従業員が行うプロボノ活動の支援取り組みの回答状況で加点。
31	CSR関連の表彰歴			2	0.69	妥当な表彰事例の回答があれば得点あり。2年連続で回答があるほうが高得点。
32	自然災害・パンデミックへの支援			4	2.50	東日本大震災復興支援、他復興支援、新型コロナ課題解決への貢献の回答状況を積み上げて得点化。「行っている」「行った」のほうが高得点。上限あり。
				<b>基礎得点 満点</b>	<b>88</b>	